

科目名	電子回路			担当教員	清水 共		
学年	電子制御 3 年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	07C03_30140		
学習目標	電子回路の基本であるダイオード、トランジスタの動作原理と基本特性を理解する。増幅回路の構成及び動作原理を理解する。回路設計や回路解析に欠かせない等価回路による解析手法を習得する。						
進め方	板書での講義を中心として行う。講義で学んだことをさらに演習・レポートにより復習し習熟度を高める。						
履修要件	特に無し						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 電気回路と電子回路(1) 2. アナログ電子回路とデジタル電子回路(1) 3. 線形回路と非線形回路(1) 4. 抵抗とコンデンサ(2) 5. ダイオード(2) 6. トランジスタ(2) 7. トランジスタの特性と増幅原理(5) 8. 前期中間試験(2) 9. トランジスタの接地方式(1) 10. 動作点(1) 11. 増幅度の計算(1) 12. h パラメータによる等価回路と増幅度(2) 13. T 型等価回路と増幅度(2) 14. h パラメータと T 型等価回路定数の関係(1) 15. 増幅回路の特性を表す諸量(1) 16. h パラメータによる入出力抵抗の計算(2) 17. T 形等価回路定数による入出力抵抗(1) 18. 各種接地回路の入出力抵抗の比較(1) 19. まとめと演習(1) 20. 前期末試験(2) 21. 前期末試験の解答と解説(1) 22. バイアス回路のいろいろ(4) 23. 安定指数(2) 24. 各種バイアスの安定指数(3) 25. FET の特徴(3) 26. JFET の動作原理と特性(3) 27. 後期中間試験(2) 28. JFET のバイアス方法(1) 29. JFET の等価回路(2) 30. RC 結合 1 段増幅回路(6) 31. RC 結合 2 段増幅回路(5) 32. 学年末試験(2) 33. 学年末試験の解答と解説(2)			電子回路に用いられる素子と機能を理解する。 D2:1 ダイオードの構造，動作原理，特性を理解する。 D2:1,3 トランジスタの構造，動作原理，特性を理解する。 D2:1,3 トランジスタの各種接地方式と増幅の原理を理解し，増幅度の計算ができる。 D2:1-2 h パラメータの意味を理解する。 D2:1 T 形等価回路の意味を理解する。 D2:1 h パラメータによる入出力抵抗の計算ができる。 D2:2 トランジスタの各種バイアス回路及び安定指数の意味を理解する。 D2:1-2 FET の構造，動作原理，特性を理解する。 D2:1 JFET の特徴を理解する。 D2:1 RC 結合低周波増幅回路の増幅度の計算ができる。 D2:3			
評価方法	定期試験 60%，レポート・演習 20%，授業態度（出席率等）20% の比率で総合評価する。						
関連科目	電気回路 ，						
教材	教科書：須田 健二，土田 英一 著 「電子回路」コロナ社						
備考	特に無し						